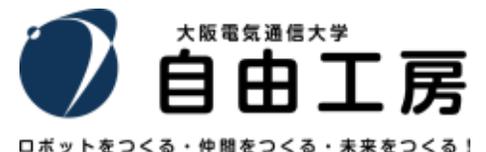


大阪電気通信大学 自由工房 救命ゴリラ!!

『ロボットと人間の連携によるやさしい救助』

大阪電気通信大学 自由工房
スピーカー 土橋



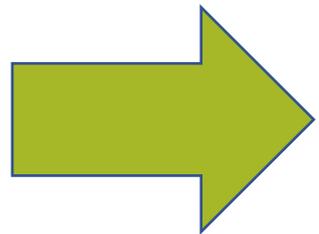
ロボットをつくる・仲間をつくる・未来をつくる!

現場に求められるもの



要救助者

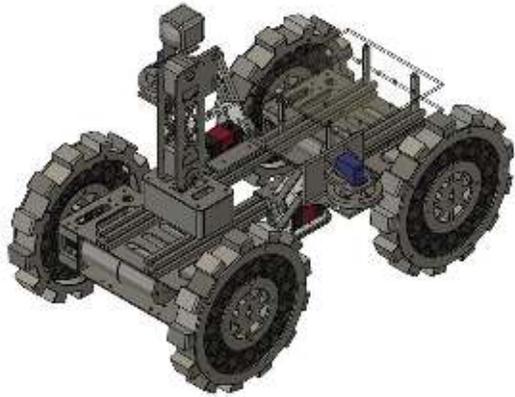
早期発見
早期救出
情報共有



ロボットと人間の連携で実現

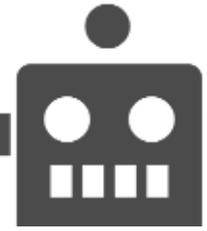
救助の流れ

1号機:Hawk



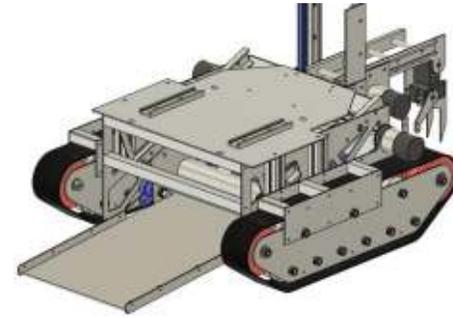
探索・支援物資

2号機:Aranea

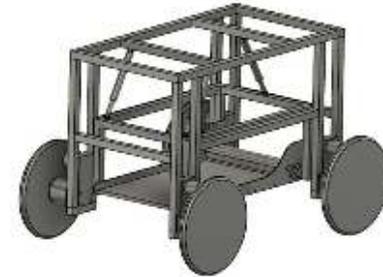


救助機の支援

4号機:Tortoise



3号機:Ibex



救助・搬送

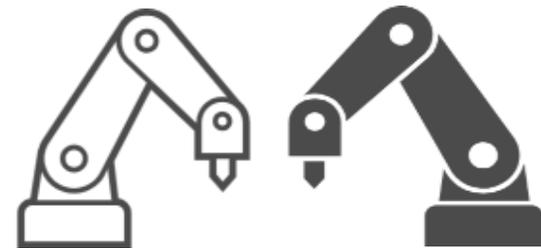
救助活動完了

救助活動の 3 つの特徴

特徴

2

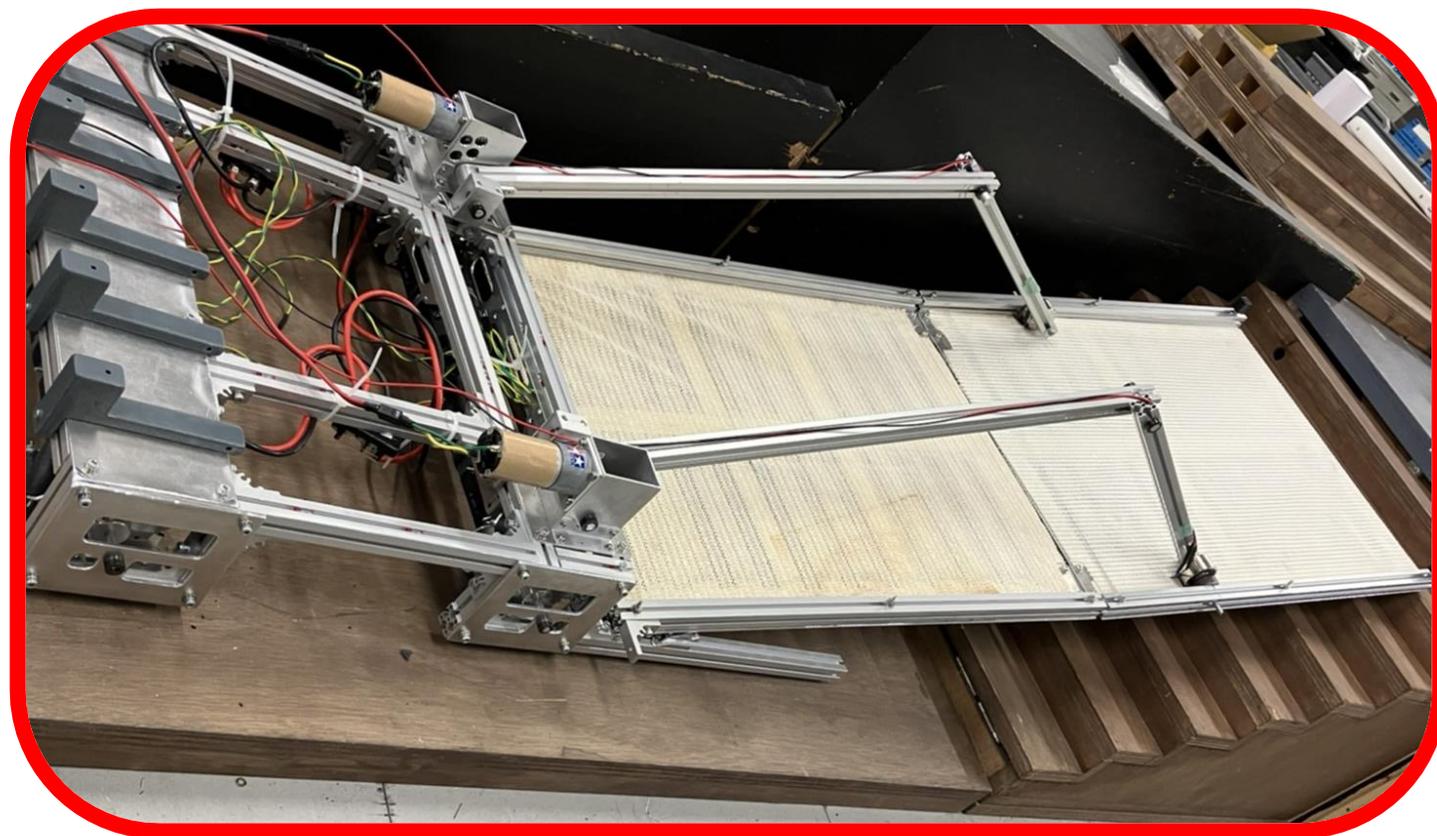
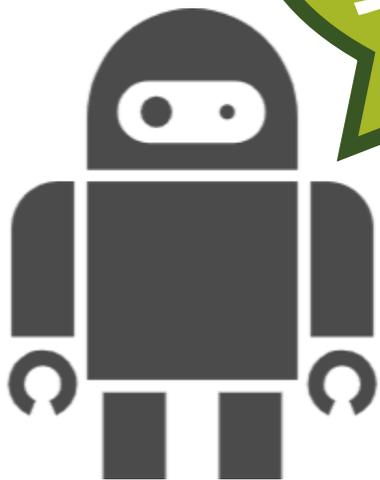
救助ロボットのサポート



階段にスロープを設置してサポート



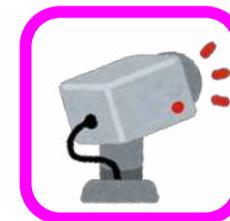
他の機体を
支えるよ！



特徴

1

正確なダミヤン容体判定



認識精度
UP!



色選択式モニター+ノイズカット收音を搭載



特徴

3

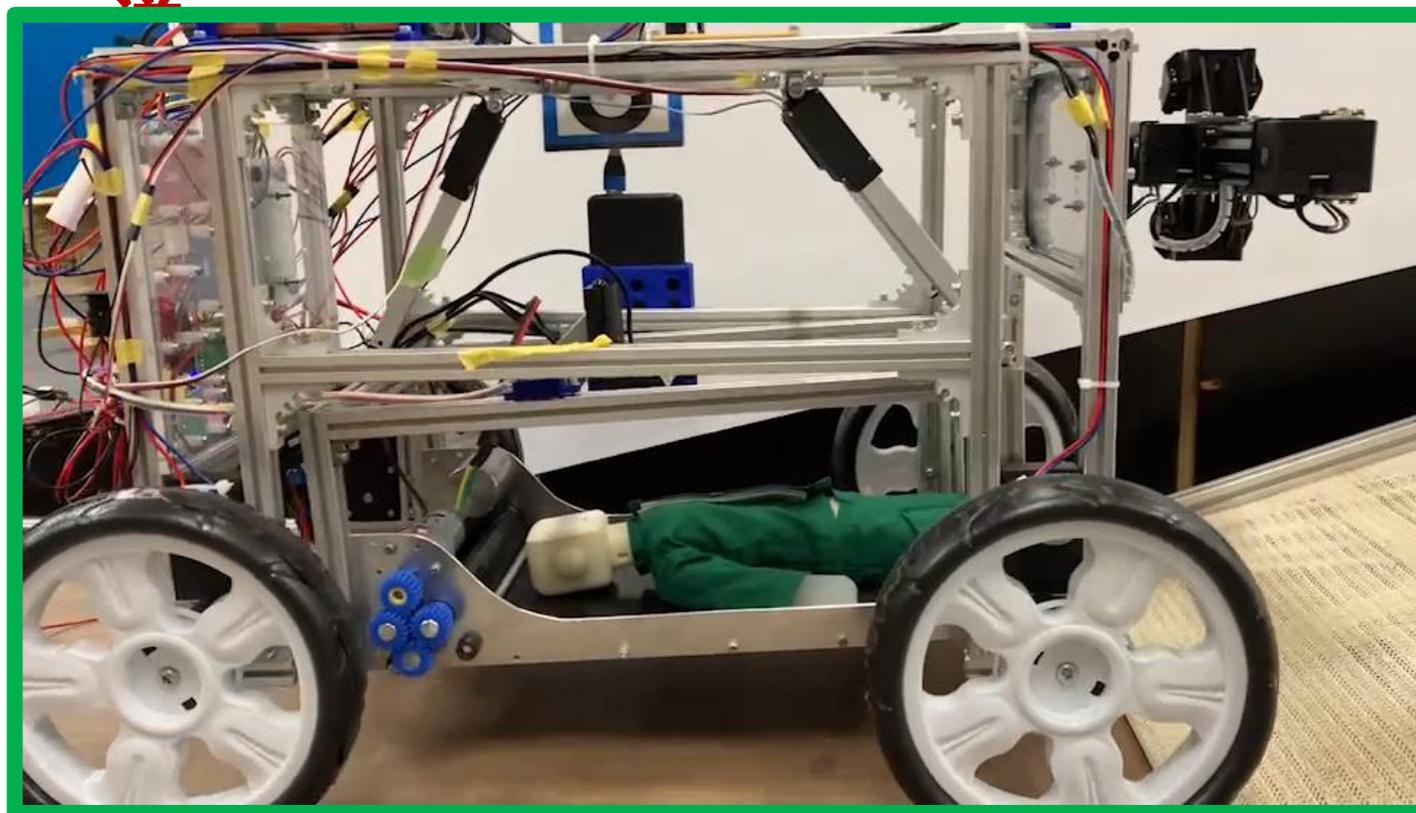
患者にやさしい搬送



救助者の
負担軽減！



可動式ベッドによるやさしい搬送



『ロボットと人間の連携によるやさしい救助』

